

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Aug 2012.8  
No.1006



本別町戦没者・戦災死没者追悼式

## 平和への誓い新たに

# 本別町戦没者・戦災死没者追悼式

戦争による犠牲者の方々の冥福を祈り、恒久平和を願う「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が7月15日午前10時から、遺族や来賓など約60人が参列し、向陽町のふれあい交流館でしめやかに執り行われました。

## 7月15日 平和への誓い新たに

本別町では、日清・日露・第2次世界大戦の戦役で299人が、終戦直前の昭和20年7月15日には、米軍機による本別空襲で40人が犠牲になり、十勝最大の被災地となりました。

追悼式では、全町民に黙とうを呼び掛けたサイレンが吹鳴され、参加者全員で黙とうを捧げた後、高橋正夫町長が「戦後60有余年の歳月が矢のごとく過ぎ、時の流れは悲惨な戦争の記憶を風化させ、平和の尊ささえ忘れさせようとしています。現在もなお、武力による紛争が続くことを考えると、今こそ真剣に恒久平和の実現に努めるとき。あの悲惨な歴史を二度と繰り返さぬよう、町民とともに決意を新たにすることが今に生きる私たちに課せられた責務であり、最上の務めです」と式辞を述べ、方川一郎町議会議長、糸田達一社会福祉協議会会長、政木高治本別町遺族会会長らが追悼の言葉を送りました。

続いて参列者全員で献花を捧げ、犠牲者への冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。



参列者全員による黙とう

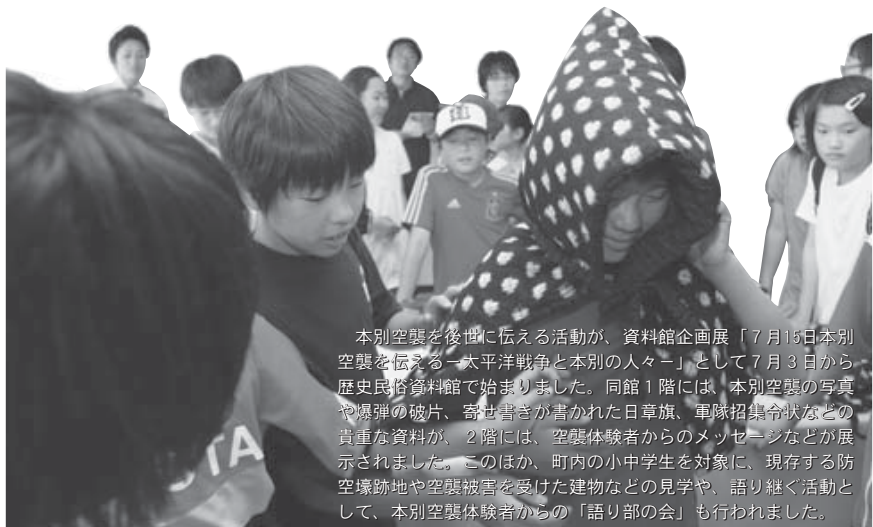


献花を捧げる参列者

## 語り継ぐ 本別空襲の悲劇と 戦争の傷跡

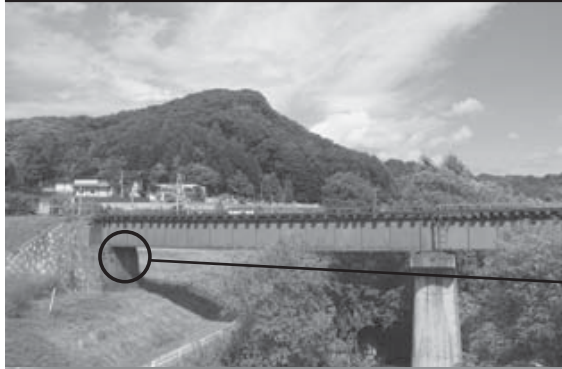
昭和20年7月15日の本別空襲から今年で67年。長い年月が経過した今なお、当時を思い出し、辛く悲しい気持ちになる人たちがいる。記憶は風化しても、空襲の被害を受けた建物や橋にはつきりと刻まれた傷跡は、私たちに何かを伝えようとしている。そこには、決して忘れてはいけない過去と語り継いでいかなければならない事実がある。

戦争を知らない世代の我々は、この悲惨な戦争を二度と繰り返さないために、これから何ができるだろうか。

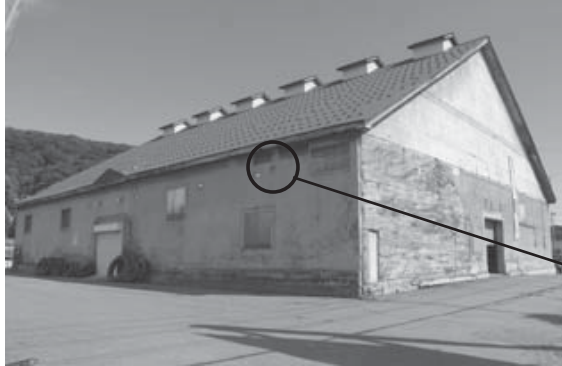


本別空襲を後世に伝える活動が、資料館企画展「7月15日本別空襲を伝える一大太平洋戦争と本別の人々」として7月3日から歴史民俗資料館で始まりました。同館1階には、本別空襲の写真や爆弾の破片、寄せ書きが書かれた日章旗、軍隊招集令状などの貴重な資料が、2階には、空襲体験者からのメッセージなどが展示されました。このほか、町内の小中学生を対象に、現存する防空壕跡地や空襲被害を受けた建物などの見学や、語り継ぐ活動として、本別空襲体験者からの「語り部の会」も行われました。

# 残る傷跡



**本別川橋梁 (旧鉄橋)**  
 明治41年建設  
 橋げたは昭和41年に  
 取り替えられ、昭和49  
 年に塗り替えられてい  
 るため、銃弾痕は残っ  
 ていないが、レンガ積  
 みの橋台は建設当時の  
 ままのため、銃弾によ  
 る傷跡が残っています。



**JA本別町 生産資材倉庫**  
 昭和5年建設  
 360坪もの広さを  
 持つコンクリート建て  
 の倉庫の外壁には、空  
 襲で受けた銃弾痕が数  
 多く残っています。屋  
 根は全て焼失したため、  
 昭和21年に復旧工事が  
 されています。



## 防空壕

空襲から、人や施設を守るために地を掘って作られたもので、現在も町内に数多く残っています。



防空壕について説明を受ける  
 勇足中学校の生徒

# 伝える

## 語り部

子どもだった体験者から  
 今の子どもたちへのメッセージ

本別空襲体験者4人が、7月12日から17日にかけて、社会科学や道徳授業の一環で歴史民俗資料館を訪れた町内の小中学生に、語り部や展示説明を通して、「戦争の悲惨さや平和の尊厳」についてメッセージを送りました。



**今野保雄さん (78)**  
 朝日町

「米軍は山の斜面ぎりぎりの低空飛行で飛んできて、本別に機銃を打ち込んで」と空襲の状況を説明。自身は大木の下に逃げ無事だったが、叔父が機銃に撃たれ、病院に運ばれる途中に亡くなった悲しい出来事があったことを語り、これからは戦争がないことを願っていると話しました。



**吉井 誠さん (80)**  
 弥生町

通り過ぎた米軍機が、左旋回し戻って来て、爆弾を投下。四十数分間に及ぶ空襲の間、無我夢中で「目と耳をおさえ、口を開けて地面に伏せていた」と、空襲の凄まじさを語りました。「空襲後は、爆音を聞いただけで恐怖心がよみがえった」などと当時を振り返り、戦争の恐ろしさを語りました。



**細岡幸男さん (82)**  
 美里別西上

アメリカの飛行機が見えたときに、「このやろう」と憎しみを覚えたことや、爆弾が落ちるたびに友達同士で安否確認のために名前を呼び合ったことを話したほか、空襲で兄を亡くした悲しい胸の内を語りました。最後に、平和の尊さを噛みしめ、学習を通して古きを訪ねて、新しきを知り、平和と命を大切に勉強に励んでほしいと述べました。

## 展示説明

**石山昭夫さん (83)**  
 新町

歴史民俗資料館2階の展示資料の説明をしながら、14歳で国民学校高等科卒業と同時に、敵機を発見して防衛司令官に報告する「防空監視哨員」として勤務した経験について話しました。空襲と睡魔の戦い、空襲により正視できない人・馬の悲惨な姿を見てきたことを語り、「人が人を殺す国と国との戦いは終わったが、多くの人が犠牲になったことを忘れないこと」が、今に生きる全ての人の共通の思いになることを願っていますと述べました。



展示資料を見学する  
 勇足小学校の児童



語り部に耳を傾ける  
 本別中央小学校6年生



展示の説明を受ける  
 仙美里中学校の生徒



スターフェスティバル2012（銀河通り推進協議会主催）が7月14日、銀河通り歩行者天国で開催され、大勢の人が飲んで、食べて楽しいひとときを過ごしました。

## ビール片手に盛り上がる

蒸し暑くなったこの日は、午後6時過ぎには、家族連れや友達同士など、訪れた多くの人で会場の席が埋まり、ビール・チューハイのほか、豚串や焼きそばなど19種類もの食べ物を提供する屋台の前には行列ができていました。場内では、料理を囲みながらビールを片手に、特設ステージで催されるフラダンスや歌謡ショーで盛り上がり、沖縄ペア旅行が当たるビンゴゲームでは、ビンゴが出るたびに大きな歓声が上がっていました。



# ほんべつ 「寄席」



## 芸・笑い・人生

落語家「林家染二」師匠と、演芸家「江戸家猫八」師匠を招いた「本別寄席」（町芸術文化事業振興会主催）が7月21日、中央公民館で開催され、2人の語り会場に詰めかけた約250人の観客が爆笑の渦に巻き込まれました。

最初に大きな拍手で登場した、上方落語の林家染二師匠は、病院や方言、人力車などをネタとした落語を披露。軽妙な話術で、幼稚園児や小学生に落語を聞かせたときの面白いエピソードなどを交えながら、会場の笑いを誘いました。続く、動物や昆虫の鳴き声を真似る江戸家猫八師匠は、ニワトリやオコギなどの鳴き声を、本物そっくりに演じ会場を沸かせたほか、自らの芸を通して「うまくいかないときに、やめたら終わり。壁を乗り越えることが自信につながる、やがて生きがいになる」と人生についても語り、会場から大きな拍手が送られました。



江戸家猫八



林家染二師匠

# 国民年金 コーナー

## 国民年金保険料の納付が困難なときは

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除、猶予になる制度があります。  
保険料の免除や猶予を受けずに保険料が未納の場合、不慮の事態により障がいが残ったり、死亡したとき、障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。

### 全額・一部免除制度

免除申請が認められるには、申請者本人のほか、配偶者や世帯主の前年中の所得（申請の時期によっては前々年中の所得）が、国で定めた所得基準の範囲内である必要があります。  
免除区分は全額免除と一部免除（3区分）があり、それぞれの免除期間のうち年金に反映される期間は、全額納付したときと比べ次の通りとなります。

免除区分			受け取る年金額
全額免除	4分の3免除	4分の1免除	全額納付の2分の1
一部免除	2分の1免除	4分の1免除	全額納付の4分の3
一部免除	4分の1免除	4分の1免除	全額納付の8分の7

※さらに、30歳未満の人には「若年者納付猶予制度」、学生の人には「学生納付特例制度」があります。



- 【申請手続きに必要なもの】
- ①年金手帳または基礎年金番号のわかるもの
  - ②印鑑
  - ③他の市（区）町村から転入された人は、前年の所得を証明するもの
  - ④学生納付特例の申請については、在学証明書または学生証の写し
  - ⑤失業などを理由にする場合は、「雇用保険受給資格者証」「離職票」

詳しくは  
国民年金課 電話相談窓口  
0222-8128

「ゆめちから」で十勝のパワースポット創ろうよ!



楽しく豊かな十勝農業の魅力伝えるため、町内農業者と道立農業大学校、帯広畜産大学の学生有志が設立した団体。

とがす夢宙人（前田茂雄代表、弥生町の企画による「ゆめちから」で十勝のパワースポット創ろうよ! ミステリーサークルアート2012 in 十勝・本別が6月23日、弥生町にある前田代表の小麦（ゆめちから）畑で開催され、幼児から一般までの参加者約70人が小麦と触れ合いながらミステリーサークル作りに挑戦しました。

もっと小麦を もっと本別を

この企画は「もっと小麦（ゆめちから）を知ってほしい。もっと本別を知ってほしい」という期待を込めて実施されたもので、参加者らは、設計図に合わせ小麦を鎌で刈ったり、踏み板を使って踏み倒すなど、ミステリーサークル作りを楽しみました。ランチタイムには、ゆめちからで作られたパンを使用した「ゆめちからミステリーサークルサンド」や「特別ミステリーサークルクッキー」などを味わったほか、熱気球の体験試乗やクイズラリーも行われるなど、1日を通してイベントを満喫するとともに、小麦への理解を深めました。

前田代表は「子供たちが、昔畑の中で遊んだという思い出が残るだけでもいい」と語り、この会場を使い、小麦を収穫する8月上旬までにコンサートや小麦を使った食についてのイベントなどを開く予定です。



同じ方向に、踏み板を使って小麦を倒す参加者

復 東日本大震災 南三陸町 興を願って

30年近く本町の中高生と交流を続けてきた南三陸町が、東日本大震災で大きな被害を受け1年4か月。震災のあった3月11日から復興に向けて指揮をとる佐藤仁南三陸町長が7月2日に来町し、中央公民館で支援を受けた本別町への感謝を伝えるとともに、現在の被災地の実態と復興への取り組みについて、来場した約250人を前に報告しました。



真剣な表情で話しに耳を傾ける来場者

- 震災による被害（一部）
- 海沿いにあった1,800戸の住宅、役場庁舎、病院などが壊滅
    - ※海拔20m以下の建物等は津波により全滅
    - ※1,926世帯（5,791人）が仮設住宅で暮らしている（平成24年5月30日現在）
  - 死者564人、不明者247人の計811人（当時の人口の4.6%）が犠牲
  - 漁船被害2,022隻（全漁船の94%）

東日本大震災 南三陸町報告会  
被災地の実態と復興への挑戦  
南三陸町長 佐藤 仁氏

10年後には 光輝く南三陸町を  
佐藤町長は「あつという間に1年4か月が経過した。支援をいただいた皆さんにお礼を申し上げたい」という感謝の言葉に続き、震災前は年間100万人の観光客が訪れる風光明媚だったまちが、マグニチュード9の地震による10倍を超える想定外の津波で、多くの人が犠牲になった。住宅や役場庁舎、病院など多くの建物が流され、電気・水道などのライフラインも全てストップするなど、まちとしての機能が一瞬にして失われたことを報告しました。

その中で、震災直後、町民の命を守るために何ができるか考えていたとき、隣町からは応援の手が差し伸べられ、全国の自治体からは多いときに1日150人、述べ20000人の職員が復旧作業に駆け付け、さらには、本来業務以外の作業でも、出来る理由を見つけて取り組んでくれた自衛隊の協力など、多くの支援があったと語りました。

現在は、仮設の診療所や商店街もオープンするなど、まちの機能とにぎわいが少しずつ戻りつつあると話し、今後は、雇用の場の創出が急務であることから、「自然・ひと・なりわい」をキーワードとした復興計画の下、課題である仮設住宅の長期化やマンパワー不足、人口流出などを解決し、10年後には「光輝く南三陸町を取り戻したい。亡くなられた方々に恩返しするために、新しい南三陸町を作りたい。これからも見守ってほしい」と述べました。



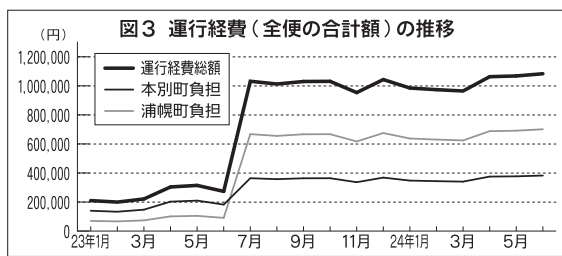
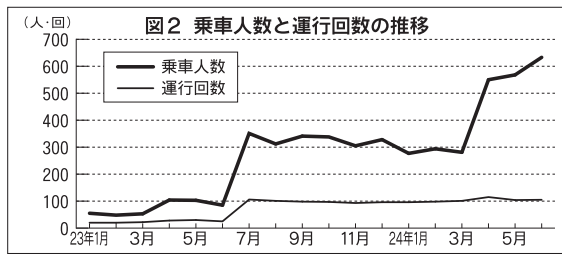
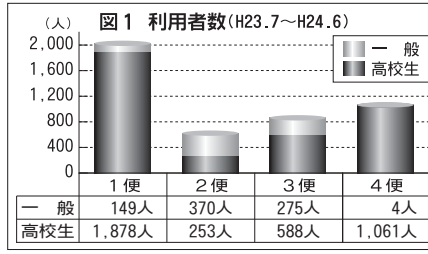
# 支えよう公共交通 Part 7

## 本別・浦幌 生活維持 路線バス

町国保病院とJR浦幌駅間の約43kmを結ぶ本別・浦幌生活維持路線バスは、両町間の通院、通学、買い物などの利便性向上や地域交流充実のため、平成18年から1日1往復で運行を開始しました。平成23年7月には十勝バス留真線の廃止に伴い、1日4往復に増便。同区間には欠かせない住民の足として、多くの人に利用されています。

### 乗車運行状況 (図1・2)

十勝バス留真線の廃止に伴う同路線バス増便により、平成23年7月以降利用者が増加しています。主に、1便、4便から浦幌町から本別高校へ通う学生らが、2便は通院や買い物などに一般客が利用しています。



これまで運行に係る経費は本別町が3分の2、浦幌町が3分の1の割合で負担していました。

しかし、十勝バス留真線廃止により同路線バスが増便するため、平成23年5月に開催された「本別町・浦幌町地域公共交通会議」において運行方法等が見直され、経費負担割合も走行距離に応じて、本別町が35・29%、浦幌町が64・71%に変更されました。また、乗車予約人数に応じた小マイクログラスを使い分け、経費圧縮に努めています。

### 乗車方法



**乗車予約先**  
本別ハイヤー有株式会社  
☎22-2181  
受付時間  
午前8時～午後7時30分

乗車は事前予約制です。1便および2便に乘車する場合は前日の午後7時30分まで、3便および4便に乘車する場合は、当日の正午までに予約が必要になります。また、初めて利用される人の住所、氏名、年齢、連絡先等の利用者登録を行い、次回予約からは登録番号で予約ができるようになります。

### 運賃

基本運賃は5キロまで200円、以降5キロごとに100円が加算されます。運賃は、乗車の際、乗務員に直接お支払いください。また、浦幌町内の①川上近隣センター、②川流布会館、③留真温泉の3か所は延伸区間となり、延伸する距離に応じて5キロごとに100円が加算されます。

- ※次の人は運賃の全額または半額が免除になります
- 小学生および小学校就学前の児童……………半額
  - 保護者が同乗する場合の小学校就学前の児童……………全額(1人のみ)
  - 身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている人……………半額

### 運賃表

		留真		JR浦幌駅
	上浦幌中学校前	600円	800円	400円
	柳町	300円	700円	900円
町国保病院前 ～南2丁目	200円	300円	700円	1,000円

※本別町内のバス停間の運賃はすべて200円です

### 主要バス停時刻表

	町国保病院行き				JR浦幌駅行き				
	1便 (往)	2便 (往)	3便 (復)	4便 (復)	1便 (復)	2便 (復)	3便 (往)	4便 (往)	
JR浦幌駅	7:00	11:20	17:30	20:10	町国保病院	8:05	12:25	16:30	19:10
留真	7:13	11:33	17:43	20:23	本別高校前	8:07	12:27	16:32	19:12
上浦幌中学校前	7:35	11:55	18:05	20:45	本別	8:10	12:30	16:35	19:15
柳町	7:41	12:01	18:11	20:51	本別北2丁目	8:12	12:32	16:37	19:17
本別南2丁目	7:42	12:02	18:12	20:52	本別南1丁目	8:13	12:33	16:38	19:18
本別南1丁目	7:42	12:02	18:12	20:52	本別南2丁目	8:13	12:33	16:38	19:18
本別北2丁目	7:43	12:03	18:13	20:53	柳町	8:14	12:34	16:39	19:19
本別	7:45	12:05	18:15	20:55	上浦幌中学校前	8:20	12:40	16:45	19:25
本別高校前	7:48	12:08	18:18	20:58	留真	8:42	13:02	17:07	19:47
町国保病院	7:50	12:10	18:20	21:00	JR浦幌駅	8:55	13:15	17:20	20:00

※浦幌町内バス停は主要バス停のみ掲載。詳しい時刻表は町ホームページをご覧ください  
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/living/img/transport02.pdf>

問い合わせ 企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎22-8121



大きな希望を持って臨んだ入学式

## 学びの心で

すすんで学び、自己の可能性にチャレンジする生徒



初めて先輩方と交流した対面式

## キビキビ

健康に配慮し、自己をしっかりと表現する生徒



カー杯跳び、走り、活躍した小中合同運動会



日々の練習の成果を發揮した中体連大会



## スマイル

違いを認め合い、思いやりの心を持つ生徒



交通ルールやマナーを、体験を通して学んだ交通安全教室



## 仙中生



護身術も学んだ不審者避難訓練

各学校の手作りページ

# HELLO

## 仙美里中学校



堂々とした態度で自らの意見を述べた少年の主張十勝大会

仙美里中学校では、「目指す生徒像」として「学びの心でキビキビスマイル仙中生」をキャッチフレーズに掲げ、家庭や地域、仙美里小学校との連携をはかりながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」を育てる教育を進めています。

# Information

## 道の駅「ステラ★ほんべつ」に遊具登場!

買い物やイベント、ドライブ途中の休憩など、町民の皆さんや旅行者に親しまれている道の駅「ステラ★ほんべつ」。さらにご家族連れで楽しいひとときを過ごしてもらうために、駅東側の多目的広場に3種類の遊具を設置しました。近くには、噴水もあり、暑い夏を涼しく過ごすこともできます。ぜひ、遊びに来てください。



隣接する駐車場では、車両の出入りが頻繁にあります。小さな子どもだけの使用は危険が伴います。保護者の方々の目配りをお願いします。

設置遊具 (左から)  
ブランコ、すべり台  
※その他、動物型スプリングの乗り物があります

8月上旬には、義経の里本別公園のかぶと池に隣接する「遊具広場」に、**道内初**となる**コンピネーション遊具**が完成します。

トイレも改築し、より快適な「遊び場」が登場します。楽しみにお待ちください。

夏の思い出作り、ぜひお越しください

### 第7回本別ひまわり3千坪迷路

とき **8月10日(金) - 16日(木)**

開場 午前9時 - 午後4時

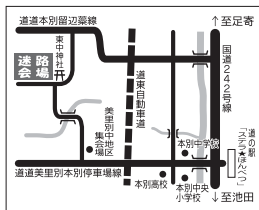
ところ **ひまわり牧場 (美里別東中)**

※8月10日(金) 午前10時から開会式を行います

たぐんさんのイベントで皆さんの  
お越しをお待ちしています

- ☆トラクター・幌馬車 ↓ 料金 大人200円 子供100円
- ☆ポニー乗馬 ↓
- ☆ビンゴゲーム大会
- ☆ミニ動物園
- ウサギなどのたくさん的小動物が待っています
- ☆お食事までできる売店コーナー
- 焼き鳥、手作りソーセージ、ラーメン、ゆでトウモロコシなどのお食事コーナーを設置します
- ☆農機具、馬具、骨董品展示コーナー
- 昔なつかし品の展示コーナーを設置します
- ※天候により長靴の持参をお願いします
- ※田舎やわだかま十分ご注意ください

**お問い合わせ先**  
本別ひまわり愛好会  
代表 背戸田 利光  
(携帯 090-3891-4633)



**入場無料**

## 交通安全の大切さ再認識 6 26

仙美里中学校（式見祝賀校長、25人）の交通安全教室が6月26日、同校校庭で実施されました。生徒らは、本別警察署員や交通安全指導員から説明を受けながら、正しい自転車の乗り方やパトカーに乗車しての死角確認、トラックの巻き込みについて学び、交通事故の恐ろしさと交通安全の大切さを再認識しました。



ながら、正しい自転車の乗り方やパトカーに乗車しての死角確認、トラックの巻き込みについて学び、交通事故の恐ろしさと交通安全の大切さを再認識しました。

## 第39回 農大祭 7 1

第39回農大祭（実行委員会主催）が7月1日、北海道立農業大学校（加藤和彦校長）キャンパスで開催されました。会場では焼き鳥やかき氷などの模擬店が来場者を楽しませたほか、販売された農大産和牛で多くの家族連れが焼き肉を満喫。ステージでは腕相撲大会や抽選会などのイベントも催され、学生だけでなく来場者も一緒に農大祭を盛り上げました。



7月23日に農大祭の収益の一部と来場者などからの募金で、原発事故の影響で牧草が不足している福島県の農業短期大学校へ牧草ロール22個が贈られました。

## ベーカリーキャンプ2012 7 6

最高水準のパン作り技術を学ぶベーカリーキャンプ2012（帯広市食産業振興協議会主催）が7月6日、ゲンキッチンで帯広市内のパン職人とパティシエを講師に招き開催されました。参加した町内外の約40人は、十勝産小麦を使ったパンやタルトなど5品に挑戦。出来上がった料理は、みんなでおいしくいただきました。同



キャンプは、7月5日から8日までの4日間の日程で、帯広市を中心にプロ・アマを対象に実施されました。

## 森原耕一さんに叙勲 6 25

瑞寶単光章を受章した森原耕一さん（元池北三町消防事務組合本別消防団員）の叙勲伝達式が6月25日、役場で実施され、十勝総合振興局由川孝典地域政策部長から勲記と勲章が手渡されました。森原さんは、昭和30年9月に本別消防団に入団以来、同団の副分団長、分団長を歴任されるなど、約43年の長きにわたり地域防災活動発展や消防体制確立に尽力されました。



## 町体育協会が受賞報告 6 25

北海道体育協会から個人・団体の両部門で表彰を受けた町体育協会の大西光夫会長が6月25日、役場を訪れ、高橋正夫町長に受賞の報告をしました。今回の受賞は、多年にわたるスポーツの普及振興に寄与した功績が認められたもので、高橋町長は「おめでとうございます。今後も本町のスポーツ振興に尽力いただきたい」と受賞をたたえ、大西会長は「今まで以上に、社会体育振興に貢献したい」と述べました。



## 伝えあう力を向上 6 21

小学3年生以上を対象に児童生徒のコミュニケーション能力育成を目的とした芸術表現体験（文部科学省主催）が6月21日、本別中央小学校（岩野真志校長）でスタートしました。講師は劇作家・演出家の西田豊子さん（東京都在住）。1月下旬まで計5回の講座を実施し、子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図り、この成果を町民の皆さんに披露する予定。4年生42人を対象とした6月22日の「コミュニケーションタイム」と題した授業では、創作寸劇などで人と人との伝えあう力をより強くするための方法を学びました。



## 安全運転をお願いします！ 6 21-25

6月21日に、本別町商工会女性部（小川睦子部長）の部員10人が、6月25日には、全道一斉「無事故の日」に合わせて本別町交通安全母の会（田西喜代会長）の会員9人が、北8丁目ふれあい公園で交通安全街頭啓発を実施しました。参加者は、道行くドライバーに交通安全啓発チラシやお茶、夜光反射材などを手渡ししながら「後部座席もシートベルト着用を徹底し、安全運転をお願いします」などと交通安全を呼び掛けました。



本別町商工会女性部の皆さん



本別町交通安全母の会の皆さん

## 再会を誓い合う 6 23-24

第32回本別高校同窓会東京支部「清流会（中川正幸会長）」の総会が6月23日、都内千代田区のイベントホールで開催されました。オープニング映像「今、母校は 本高は 故郷は」が上映され、その後、総会議案を出席者で了承しました。方川一郎町議会議長（本別高校同窓会長）が祝辞を述べ、前田廣治氏（第3期卒）の乾杯で祝宴が始まりました。高橋正夫町長が本別町の近況を報告し、引き続き、小中学生時代に3年間、本町に在住の読売テレビ岩田公雄特別解説委員（1949年生まれ）が、本別での思い出を涙ながらに語りました。本町の特産品販売コーナーは完売したほか、地元企業から提供されたオリゴ糖、チーズを含む、ふるさと抽選会は、大いに盛り上がりしました。最後に、参加者全員で「本高生」を合唱し、再会を誓い合いました。翌24日は、第44回札幌本別会（相澤裕会長）総会が札幌市内のホテルで開かれ、約50人が旧交を深めました。



清流会総会



札幌本別会総会



## 立江小学校児童との交流研修 7 23

徳島県小松島市立江小学校との交流研修のため、7月20日から22日に同校を訪問していた勇足小学校（曾根広至校長）5・6年生が7月23日、役場を訪れ高橋正夫町長に帰町の報告をしました。児童らは、「海水浴が楽しかった」「立江小の友達とゲームをしたのが一番の思い出」「また行きたい」と話し、高橋町長は「いい思い出ができてよかったね。小松島で体験したことを、ずっと忘れないでください」と述べました。



## 全力で試合に挑みます 7 20

十勝予選を勝ち抜き、北海道中学校体育大会の陸上、水泳、剣道競技に出場する、本別中学校（山口弘康校長）と仙美里中学校（式見祝賀校長）の生徒15人が7月20日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に全道大会出場の報告をしました。生徒らは、「自分の持っている力をすべて発揮し試合に挑みます」「一人一人がベストタイムを出せるよう頑張ります」「上位を狙って、全国大会出場を目指します」と力強く意気込みを述べ、中野教育長は「さらに練習に励み、ベストを尽くせるよう頑張ってきてください」とエールを送りました。



## 100歳長寿おめでとございます 町敬老祝い金の贈呈

スイさんは明治45年7月15日福島県生まれで、昭和元年に本別町に移住後、故中光さんと結婚。スイさんは早くにご主人を亡くされましたが、婿を迎え家業の農業を営みながら男1人・女2人のお子さんを育て、孫6人、ひ孫8人、やしゃご5人にも恵まれました。現在はアメニティ本別で暮らしていますが、この日は、孫の高田泰子さん宅（浦幌町）で親戚に囲まれて100歳を祝いました。長女のトシエさん（78）は「祖母が103歳まで生きたので、それ以上長生きしてほしい」と語ってくれました。



スイさんは、町内の明治生まれ最後の100歳となりました

和田なつ子さん（向陽町）が6月27日に、菅野スイさん（活込）が7月15日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金7万円と商品券3万円分が贈呈されました。

なつさんは明治45年6月27日宮城県で生まれ、幼少のころ家族で本別町へ移住。昭和30年に故広市さんと結婚し、夫婦で農業を営んでいました。この日は、親戚や友人に囲まれて100歳の誕生日をお祝いし、おいの伊藤敏一さんは「周りの皆さんや近所の人に恵まれて長生きできた。100歳を迎えて喜んでいきたいと思います」と話してくれました。



## 水上レクリエーション 7 14

前期第2回あかげら少年団「水上レクリエーション」が7月14日、町民水泳プールで実施されました。参加した町内の小学3年生から6年生16人は、普段プールでは出来ないターザンジャンプや水中綱引きなど6種類のゲームを楽しみました。



## 雨でもでかけちゃう 7 6

第31回夜でかけナイト（実行委員会主催）が7月6日、北1丁目から北4丁目商店街で開催されました。当日はあいにくの雨。人が来ないのではと思いきや、傘を片手に大勢の人がまちに繰り出しました。焼き鳥やクレープを買い求める人、ゲームに夢中になる人など、商店街の方々と触れ合いながら楽しい夏の一夜を過ごしました。



## 陸上少年団 全道大会で健闘 7 20

7月15、16日に千歳市で開催された第30回北海道小学生陸上競技大会に出場した、本別陸上少年団（戸叶次朗主将）の5人が7月20日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に大会結果を報告しました。大会では、広瀬蘭さん（中央小5年）が走り幅跳びで3位入賞、向井大貴さん（同5年）が走り高跳びで8位に入賞するなど健闘しました。選手らは、「入賞できてうれしかった」「すごく楽しかったので、また全道大会に出場できるよう頑張りたい」などと入賞の喜びと今後の意気込みを語りました。



## ベストタイムを出せる ように頑張ります 7 13

標準記録を突破し、7月21日、22日に江別市で開催される第35回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会に出場する本別水泳スポーツ少年団（留田祥聖主将）員など15人が7月13日、教育委員会を訪れ全道大会への出場報告をしました。選手らは、「ベストタイムを出せるように頑張ります」「上位を目指して頑張ります」などと力強く抱負を述べ、中野博文教育長は、「今持っている力を十分発揮し頑張ってください」と激励しました。



全国大会出場は果たせなかったものの、羽生乃彩さんが10歳以下クラス女子50mバタフライで1位に入賞しました。

# みんなの健康

336



採血は、血液での検査を行うために必要な医療行為です。ごくまれに重大な健康障害を生じるとの報告があります。基本的には安全な手技で、これに伴う合併症の頻度も一般的には低く、その程度も軽いものといわれています。採血はふつう肘の血管から行いますが、難しい時には安全のため前腕や手の甲から採血することもあります。1

## 安心安全の医療をもとめて「採血について」

回で全量の採血が行えるよう努めておりますが、十分な量が採取できない場合は再度行う場合もあります。採血を、安全に間違いなく行うために「お名前」「消毒のアレルギ」「血液透析中」「血液を固まりにくくする薬の服用」などの確認をいたします。採血中、チクツとした一瞬の痛みは通常心配ありません。手の指先に痛みやしびれ感などが走る、我慢できないような痛みを感じたときはお知らせください。採血後、青あざや皮膚の下の血のかたまり（皮下血腫）ができないように針を刺した場所を5分間しっかりと圧迫する必要があります。今後も、患者家族の皆様にもご協力いただきながら、重大な健康障害が生じないよう職員も最大限の注意を払い、安心安全な医療の提供に努めてまいります。

本別町国民健康保険病院  
看護部長 山岸広美

## 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。  
お父さん、お母さんのたくましの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！



勇足元町  
狭間 蒼太くん  
(美鈴ママ)



清流町  
畑山 紗良ちゃん  
(優佳ママ)



活込  
佐川 茉祐夏ちゃん  
(千夏ママ)



## 友好都市 徳島県小松島市へ職員派遣

総合ケアセンター 菊池康祥副主査(38)が、友好都市・徳島県小松島市へ、職員の資質向上と交流を目的に研修生として派遣されました。研修期間は8月1日から10月31日までの3か月間。本町からは8人目です。



## ご寄付ありがとうございます 平成24年6月15日から7月19日

- 次の通りご寄付をいただきました。  
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★本別町老人ホーム指定  
タオル150本  
……………本別町役場職員夫人一同代表 高橋照子  
ボックスティッシュ120箱  
……………絆おたのしみカラオケ会 会長 菊地 武志
  - ★本別町国民健康保険病院指定  
タオル8本・おむつ地3枚 …………… 匿名

- タオル165本  
……………本別町役場職員夫人一同代表 高橋 照子
- ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定  
金100,000円 …………… 美里別西中 伊藤 正宏
- ★本別町農業振興基金指定  
金10,000,000円  
…北5丁目  
本別町農業協同組合  
代表理事組合長 田中 敏行
- ★仙美里保育所指定  
牛乳贈答券20,000円分  
……………拓農酪農振興会 会長 梅津 洋一



## 銀河ホップアラウンド

### 足寄町



### 第33回 足寄ふるさと盆踊り 両国花火大会

盆踊りや花火大会などさまざまな催し物で皆さんをお迎えます。ぜひご来場ください。

□とき 8月15日(水)

□ところ 町民センター駐車場 および周辺

### 陸別町



### ポトルドウォーター 「陸別百恋水」完成しました

陸別町小利別浄水場のおいしい水を500mlのペットボトルに詰め込み、試作品として製造しました。主に、陸別町のPR用に利用されますが、一部を陸別観光物産館(道の駅・オーロラタウン93内)にてテスト販売を行っております。陸別にお越しの際は是非ご賞味ください。

□問い合わせ 陸別町役場総務課チャレンジプロジェクト担当  
☎2712141 内線215



- 内容
- 午後1時10分ーステーション
  - 午後2時30分ーごも縁日(緑地広場)
  - 午後3時30分ーセレモニー  
ちちまき
  - 午後5時30分ーみんなで楽しむ足寄音頭  
子ども盆踊り
  - 午後6時15分ー仮装盆踊り、素踊り
  - 午後7時15分ー両国花火大会
  - 午後8時40分ー盆踊り表彰式  
お楽しみ抽選会
- ※時間は変更になる場合があります
- 詳細  
足寄町役場経済課林業商工観光室  
☎2512141 内線242

# 本のある暮らし

137

# 新しい旅のガイドブックが充実!

## 戸籍のまど

### お誕生

6月後半から7月前半の届出分

五日市心愛<sup>ここなち</sup>さん 満里<sup>みんり</sup>さん 6/11 北5丁目  
 白井花歩<sup>かはなほ</sup>さん 潤<sup>みづ</sup>奈央<sup>なな</sup>さん 6/21 北3丁目  
 只野月唯<sup>ただのつき</sup>さん 雅寛<sup>みやん</sup>寿美玲<sup>すめれい</sup>さん 7/4 仙美里元町  
 新津颯涼<sup>あさひ</sup>くん 良明<sup>りやうめい</sup>利香<sup>りか</sup>さん 7/4 仙美里元町  
 戸田岳志<sup>とだたけし</sup>くん 賢治<sup>けんぢ</sup>みぎ<sup>みぎ</sup>さん 7/11 新町  
 高橋いつみ<sup>たかはしいつみ</sup>さん 智浩<sup>ちこう</sup>清美<sup>しみ</sup>さん 7/11 山手町

### ご結婚

(遠藤 賢一<sup>とんどうけんいち</sup>さん 北7丁目  
 加藤 明子<sup>かとうあけこ</sup>さん 北7丁目  
 (大和田 幸治<sup>おおわだゆきぢ</sup>さん 美里別西上  
 齋藤 阿耶<sup>さいとうあや</sup>さん 幕別町

### おくやみ

春山キミ<sup>はるやまきみ</sup>さん 90歳 6/15 南1丁目  
 鈴江ノウ<sup>すずえのう</sup>さん 102歳 6/16 勇足東2  
 森 アイ<sup>もりあい</sup>さん 83歳 6/19 弥生町  
 伊藤 寿夫<sup>いとうしゅうぶ</sup>さん 79歳 6/21 美里別西中  
 塚本夕工子<sup>つかもとゆいこ</sup>さん 83歳 6/26 弥生町  
 荒井千江子<sup>あらいちえこ</sup>さん 88歳 6/29 仙美里元町  
 川崎 紀行<sup>かわさきのりゆき</sup>さん 89歳 7/1 北3丁目  
 山尾 義勝<sup>やまおしよしかつ</sup>さん 79歳 7/7 南4丁目  
 福家 テツ<sup>ふくやてつ</sup>さん 83歳 7/10 朝日町

## わたしたちのまち

前月比

人口 **8,126人(-5)**  
 男 **3,998人(+2)**  
 女 **4,128人(-7)**  
 世帯数 **3,844戸(-1)**  
 〔6月末日住民基本台帳〕



図書館では行楽シーズンに向けて役立つ、情報満載の旅コーナーを設置しました。

目的や行き先別に最新の情報が手に入る旅の本がいっぱい。

夏休みの家族旅行に、個人や団体旅行のプランニングにぜひ役立ててください。

北は北海道から南は沖縄まで、最新情報がぎっしり。日本国内の旅行・観光・お出かけに活用してください。また、ヨーロッパ、アジア、太平洋・インド洋の島、オセアニアなどなど、海外旅行用のガイドブックも新しくなりました。

職員一同皆様のご来館をお待ちしております

お問い合わせ先

**本別町図書館**

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

